

都市・交通デザイン学科に合格した先輩の

合格体験記

*今年度から入試の呼び方が変わりました。

変更前	変更後
AO入試	総合型選抜
推薦入試	特別選抜
前期入試	一般選抜(前期)
後期入試	一般選抜(後期)

AO入試(現 総合型選抜)編

1年生 男子 東京都出身

私は、昔から興味を持っていたまちづくりや水理学など、都市に関することをある程度幅広く学ぶことのできることに、学生と先生の仲が良いこと、自然豊かな富山がフィールドであることからこの学科を志望しました。入試では、中高で継続してきた生徒会や学外活動のカヌーを通じて得たことを活かし、プレゼンや面接、グループディスカッションに臨みました。入試の際に意識したポイントは、ものごとをポジティブにとらえることと、普段の自分を出し切ることです。合格がかかっているのが当然緊張すると思いますが、受験生の皆さんが一生に一度の入試を楽しみながら受験できることを願っています。がんばってください！

1年生 男子 山梨県出身

私は昔から鉄道が好きで、その延長線上で公共交通機関を使ったまちづくりについて興味を持ち、この学科を志望しました。入試では、吹奏楽部でチームプレイに取り組んだことと、鉄道旅行で他の人よりも多くの街を見ていることをアピールし、なんとか枠にねじこんでもらえるように攻めの姿勢でグループディスカッションなどに取り組みました。入試で役に立ったことは、高3のときいろいろな大学のオープンキャンパスに行き、この学科にしかない特徴を分析できていたことでした。今年はオンラインで質問コーナーがあるようなので、先輩方からじゃんじゃん志望理由書の話のネタを搾り取っておくといいかもですね。面接のとき、先生方は変化球を投げてきます。(あなたは撮り鉄?それとも乗り鉄?など)あくまでも「受かるため」の返答を論理的に考えて喋ろう。

おすすめ図書:「AO 入試の赤本(著・小杉樹彦)」

1年生 男子 長野県出身

私はまちづくりに携わりたいというアバウトな目標しかなく、具体的にどんな形で関わるのかということまで決めることができませんでした。しかし、この学科では街を支える土木から、都市のマネジメント、そして建築、防災とさまざまな分野を学ぶことができるため、私はこの学科に入り具体的な目標を決めようと思いました。入試に関しては高校時代野球部の主将をしていた事で得た長所をアピールし、面接やグループディスカッションでは人の話を聞いて、当たり前だけど質問の答えを述べるということだけを考えていました。失敗したらどうしようと思います。でもやってきたことを出せない方が、入試が終わってモヤモヤすると思います。おもいきり全部出しきることが大事です。僕もこの学科に入れたことをもう1度噛み締めて勉強に励む機会になりました。みなさんも合格目指して頑張ってください。

1年生 男子 広島県出身

私は地域と一体となっのまちづくりに興味があり、都市交通デザイン学科はフィールドワークやグループワークを重要視しているの志望しました。面接とプレゼンでは、地元のまちづくりについて聞かれたりSDGsについて聞かれたりしたので、まちづくりに本当に興味がないと難しい試験だと感じた。グループディスカッションでは、自分が前に出て仕切らなくても的がはずれてないことを発言すれば大丈夫だと思って臨みました。最後に、どの科目にも言えることですが、楽しいと思って調べたり対策をしたりすれば即興でも良いことが言えると思っています。

1年生 女子 岩手県出身

私は、都市計画や都市の再開発を学びたいと思い、この学部学科を受験しました。なかでも富山市が行なっているコンパクトシティ政策に興味を持ち、実際にその政策が行われている富山で都市について学んでいきたいと思いました。そしてこの学部では、都市について総合的に学ぶことができるとともに、自主プロジェクトなどを通して人との関わりやコミュニケーションを多く取ることができるという点がとても魅力的に感じました。入試対策としてやらなければならないことが多く、つらいと感じることも多いと思いますが、1日1日を大切に自分の将来にむけて諦めずに最後までチャレンジしてみてください。

2年生 男子 山梨県出身

私は、高校時代「大学へ行こうかな」と思っていたものの、自分が学びたい分野が明確になっていませんでした。そこで、幼い頃から好きで唯一自分が熱中できる鉄道や道路などの交通の分野について学べる大学がないかと調べました。そのときに、富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科を見つけました。実際にオープンキャンパスにも参加して、大学の先生方や先輩方のお話を聴く中でAO入試のことを耳にしました。直前までAO入試を受験するか迷いましたが両親や高校の担任の先生と相談し、受験することにしました。書類審査では担任の先生に何度も添削してもらい、自分が学びたいことや今までの学生生活で得たこと等をまとめました。入試対策で大切だと思うことは、頼れる先生を見つけて、表現は悪いですがどんどん利用することです。AO入試はレポート作成や面接、プレゼンテーションなど対策しなければならないことがたくさんありましたが、幸いにも担任の先生が大学では建築系が専門だったので、親身になって指導してくださり、的確なアドバイスをいただきました。もちろん、先生を頼るにしても自分が最大限の努力をすることが前提です。自分の大学での学びに対する熱意があれば、どんな困難も乗り越えることができると思います。頑張ってください!

前期入試編

1年生 男子 福井県出身

私は、まちづくりや都市、交通に興味を持っていて、大学ではそれに関連することを学びたいと考えていました。入試では2つの試験のうち、数学は赤本で8割がとれるようになるまで青チャートなどで演習をしました。数学の過去問は都市デザイン学科の物だけでは問題数が足りないのので、他の理系学部の過去問も同じように初見で8割を目指して解きました。青チャートだけではなく、学校で購入した問題集などで時間を決めて計算練習もしました。学校の問題集は計算問題などが多く、試験当日の限られた時間の中でミスをしないうための練習としてとても役に立ちました。使っていた参考書はHi-PRIMEという参考書でしたが、計算の練習ができれば学校の問題集をそのまま使って演習することで代用はできると思います。前期試験には総合問題と呼ばれる問題がありますが、赤本には回答は載っていませんので注意してください。自分は過去問の問題に合わせて先生に回答の添削をお願いしました。とても不安になりましたが自分にできることを少しでも多くしておけば、その分試験当日の自分への負担が減るので早め早めからの準備を怠らず頑張ってください。

1年生 男子 北海道出身

僕は元々、他の大学を志望していたのですが、夏休みを含めて10月ぐらいまであまり勉強してこなかったために、10月ごろに志望校を変えざるを得ませんでした。自業自得です。高校生や受験生の皆さんはこうならないように夏休みはしっかりと勉強してください。志望校を変えた当初は、「俺は、あの大学に行くことができない」という思いから、なかなか勉強に熱が入らなかったのですが、周りの人が模試で順調に成績を伸ばしていることに焦りを感じ、冬休みの少し前ぐらいから机に穴が開くくらい勉強しました。当然、途中でしんどくなることもありましたが、筋トレをすると「勉強は筋トレよりは楽だな」という気持ちが芽生えるので、気分転換に筋トレをすることをおすすめします。最後に、勉強も大切ですが、睡眠は十分にとってください。睡眠不足になってしまうと、せっかく勉強した内容を忘れてしまうので、少しでも勉強時間を取りたい気持ちはわかりますが、「絶対に」睡眠時間は削らないでください。がんばれ!

後期入試編

1年生 男子 千葉県出身

私はセンター試験後にこの学科を後期で受験することになりました。前期試験で落ちても後期で合格できたのは、前期終了後からの期間で「諦めなかったら絶対受かる」などという合格体験記でよくみるような言葉に惑わされずに、自分が本当にやるべきことを明確に出来たことが少なからず良い影響を与えたと思っています。どの大学へ行っても大きな差はないと自分は思うので、合格体験記なども参考程度に自分でやるべきことを明確にし、最後まで走りきることが大切だと思います。そうやって自分で選んだ勉強で最後までやり切れば、たとえ第一志望でなくてもその先の大学生活を送る上で貴重な経験になると思うので、最後まで頑張ってください。

1年生 男子 愛知県出身

高校3年生の夏まで部活をやっていたので本格的に受験勉強を始めたのは2学期からでした。高校が講習などに熱心な学校だったのでそれまでは平日の授業後、土曜日、長期休みとほぼ毎日学校で講習があり、それらを受けていました。講習では演習を主にしていたので、家では復習や解きなおしをしていました。2学期からは過去問と予想問題集を使ってセンター対策をしました。センターが終わってからは過去問を使って2次試験対策をしました。後期の受験は数学と面接の2つだったので数学は過去問を解き、面接は事前に質問とその返答を考えて対策しました。勉強を頑張ったという経験は大学に入っても必ず生きてくると思うので諦めず最後の最後まで頑張ってください。